

平成 31 年度 政務活動費支出明細書

会派又は議員名

公明党

[illegible]

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	令和元年 7月 6日				
場 所	中央大学駿河台記念館（千代田区神田駿河台3-11-5）				
相 手 方	一般社団法人日本国づくり研究所				
参加者氏名	大沢純一				
目的・内容 結果 等	中央大学名誉教授である佐々木信夫先生が主宰となり設立された「日本国づくり研究所」の創立記念シンポジウムに参加。 佐々木先生は行政学を専門とされ、地方分権として「道州制」の導入を強く主張されてきた方。 本日のセミナーでは、佐々木先生ほか各分野の著名な講師の方々から、人口減少のなかで東京一極集中に向かう我が国の現状と、都市としての機能を分散して地域の特色を生かした発展を目指す州制度の必要性が論じられた。				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費			
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
		中央大学 駿河台記念館	JR	立川駅⇄ 御茶ノ水駅	1,100 円
					円
					円
					円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳：参加費			5,000 円
	そ の 他	内訳：			円
		内訳：			円
		内訳：			円
合 計					6,100 円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

2019年7月6日

領 収 書

¥ 5, 0 0 0 -

但し、日本国づくり研究所創立記念

シンポジウム／講演の部参加費として

一般社団法人日本くにつくり研究所

理事長 佐々木信夫

〒101-0063 千代田区神田淡路町

2-1-1001

(一社)日本国づくり研究所創立記念 シンポジウム

これからの日本—問われる羅針盤

昨年4月に法人としてスタートした(一社)日本国づくり研究所の開設を記念して、このたび「創立記念シンポジウム」を開催する運びとなりました。国のかたち、官僚制、大阪、東京の今後など幅広い議論をしてみたいと思います。それぞれの分野で活躍する講師の方々をお招きしました。貴職のご出席を賜りたく、謹んでご案内を申し上げます。

主 催 一般社団法人日本国づくり研究所

日 時 2019年7月6日(土) 13:00-19:00

(講演の部 13:15-17:05 設立記念パーティ 17:10-19:00)

会 場 中央大学駿河台記念館2F講堂

定 員 150名(先着順)

参加費 10,000円(講演の部のみは5,000円・当日にご徴収させていただきます。)

お申込 郵便はがき、FAX、E-mail

プログラム

(総合司会) 川井綾子(フリーアナウンサー、中央大学客員講師)

◇開会挨拶(13:00~13:05) 佐々木信夫(日本国づくり研究所理事長)

◇来賓挨拶(13:05~13:15) ご来賓の方々

講演の部

講演Ⅰ(13:15~14:00)「人口減少時代を迎えて—この国の賢いたたみ方」
佐々木信夫(中央大学名誉教授、法学博士)

講演Ⅱ(14:00~15:00)「どう変える日本官僚制—岩盤規制の壁を超えて」
原 英史(政策工房社長、規制改革推進会議委員、国家戦略特区G座長代理、元通産省キャリア官僚)

講演Ⅲ(15:10~16:00)「どう変える大阪—大阪都構想これからの大阪」
松浪健太(大阪府議、前衆議院議員(5期)、産経新聞記者)

講演Ⅳ(16:00~17:00)「どう変える東京—2020五輪これからの東京」
谷 隆徳(日本経済新聞社編集委員)

◇閉会挨拶(17:00~17:05) 田中芳樹(日本国づくり研究所理事、アルク設計事務所代表)

パーティ

設立記念パーティ(17:10~19:00)「語ろう! 日本のこれから」(進行役) 清水洋邦(日本国づくり研究所監事)



活動記録簿

会派・議員名 公明党 福島正美

年 月 日	令和元年 5 月 7～8 日			
場 所	アットビジネスセンター池袋			
相 手 方	(株)地方議会総合研究所			
参加者氏名	福島正美			
目的・内容 結果 等	5 / 7 PM1:00～PM5:00 議会運営の理論と実務(1) 5 / 8 AM10:00～PM4:00 議会運営の理論と実務(2)			
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
		J R 東京駅	J R 中央線	立川 ⇄ 池袋
				2,200
				円
				円
				円
	参加費 (会費・負担金等)			35,000
	そ の 他	内訳:		円
		内訳:		円
		内訳:		円
合 計				37,200

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

領収証

No. _____

公明党 様

2019 年 5 月 7 日

金 額

¥35,000

内

消費税等

現金

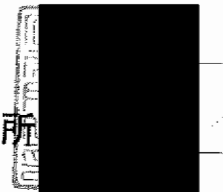
但 5月7日～8日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	令和元年 7月22日				
場 所	府中市市民活動センター プラッツ パルトホール				
相 手 方	公益財団法人 東京市町村自治調査会				
参加者氏名	高口靖彦				
目的・内容 結果 等	持続可能なまちづくりを考える 地方創生×結婚支援				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)		調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
		府中市市民活動セ ンター	J R	立川<→>分倍河原	340 円
		府中市市民活動セ ンター	京王線	分倍河原<→>府中	260 円
					円
					円
	参加費 (会費・負担金等)		内訳：参加費		円
	そ の 他		内訳：振込手数料		円
			内訳：		円
			内訳：		円
	合 計				600 円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

持続可能なまちづくりを考える
地方創生×結婚支援 シンポジウム

日時：令和元年7月22日（月）午後1時30分～午後4時45分

場所：府中市市民活動センター プラッツ バルトホール

主催：公益財団法人 東京市町村自治調査会

参加者：高口 靖彦

1. シンポジウム内容

別紙

2. 感想

深刻な人口減少・超少子高齢社会が進む中、30年後の社会保障給付費等の増大は、日本の国力の著しい減退を予測し、その時の働き世代の方々の負担は、計り知れないものと危機感を覚える。

地方においては、自治体の消滅可能性が現実を帯び、既に早くから婚活支援、結婚支援に真剣に取り組み、試行錯誤を経て、成果を現わしつつある自治体が増えてきている。

一方、東京においては若年人口の流入が続き、今日まで合計特殊出生率が何十年にも渡り全国最下位にある等、危機感が極めて希薄である。

少子化の主因は未婚率の上昇であることが指摘されつつも、東京の一部自治体を除き、今日まで、結果において結婚支援を真剣に考えてこなかったと実感する。

近年になり、結婚支援をテーマとするシンポジウム等の開催が、東京に於いて開催されるようになったことは評価するが、今後どのような実効性を持った施策が展開され、成果が現れてくるのか、都内各自治体の真剣さが問われるものと思う。

活動記録簿

公明党 門倉正子

年 月 日	令和元年 7 月 24 日			
場 所	アットビジネスセンター池袋駅前別館			
相 手 方	(株) 地方議会総合研究所			
参加者氏名	門倉正子			
目的・内容 結果 等	①幼児教育・保育の無償化の先にあるもの～子育て、子育て環境の変化に伴いこれから求められる子育て支援についての課題と展望について学ぶ。 ②高齢者福祉のあり方と在宅介護の行方～高齢化が進行する中で介護保険の持続的発展は可能にするために 新たに地域で支え合う事業の構築、共生社会の仕組みづくりが重要であることを感じた。これを立川市でも今後の社会展望に取り入れて高齢者福祉を推進していきたい。			
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費 <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
		池袋	J R	立川⇄池袋
				1,100 円
				円
				円
				円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳：25000		25,000 円
	そ の 他	内訳：		円
		内訳：		円
		内訳：		円
	合 計			26,100 円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

領収証

No. _____

公明党 門倉正子 様

2019 年 7 月 24 日

金 額

¥25,000

内

消費税等

現金

但 7月24日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



活動記録簿

会派・議員名 公明党 福島正美

年 月 日	令和元年 7 月 25 日			
場 所	アットビジネスセンター池袋			
相 手 方	(株)地方議会総合研究所			
参加者氏名	福島正美			
目的・内容 結果 等	7 / 25 AM10:00~PM5:00 まちづくりワークと都市計画の実践			
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
		J R 東京駅	J R 中央線	立川 ⇄ 池袋
				1,100
				円
				円
				円
	参加費 (会費・負担金等)			25,000
	そ の 他	内訳 :		円
		内訳 :		円
		内訳 :		円
	合 計			26,100

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

領収証

No. _____

2019 年 7 月 25 日

公明党 様

金 額

¥25,000

内

消費税等

現 金

但 7月25日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



大澤主任



公印	係	係長	文書主任	次長	局長	副議長	議長
	中野		坂谷	川瀬	小林	福壽	佐藤
国庫・快便甲乙丙丁				保存・保管・永年・10年5年3年1年			

様式3

31年 8月 19日

立川市議会議長 殿

会派名及び 公明党
代表者氏名 高口 靖彦
又は議員氏名
出張者氏名



印

出張報告書

出張調査・研修を行いましたので、次のとおり報告します。

出張者氏名	高口靖彦
出張期間	1・8・8（木）～8・9（金）まで1泊2日
出張先及び 調査・研修 項目	1 京都市：議会広報誌クリニック 2 京都市：自治体行革、経営効率化に向けて

1 経 略

2 調査旅費	39,450円
鉄道賃等	運賃 16,840円 (16,840×1人=16,840)
	特急料金 11,140円 (11,140×1人=11,140)
	地下鉄等 円 (× 人=)
航空賃	→ 円 (× 人=)
	→ 円 (× 人=)
バス	円 (× 人=)
旅行雑費 (2,200/2日)	2,200円 (2,200×1人=2,200)
宿泊料 (1泊/朝食)	9,270円 (9,270×1人=9,270)
その他 (夕食/1食)	円 (× 人=)
3 研究研修費	→ 40,000円 (40,000×1人=40,000)
4 資料購入費	円
合 計	79,450円

5 概要



領 収 証

2019年 8月 8日

公明党 様

金13,990円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
立川802 No.000004

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渡 谷
税 務 署 承 認 済

HOTEL
ELCIENT
KYOTO

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町13
TEL: 075-672-1100 FAX: 075-672-9988

ご利用明細書
STATEMENT

1/1

部屋番号 ROOM No.	お名前 NAME	Mr. Ms.	ご人数 NUMBER OF PEOPLE
1743	公明党 立川市議会	様	1
ご到着日 ARRIVAL	ご出発日 DEPARTURE	備考 REMARKS	発行日 DATE OF ISSUED
08/08	08/09		19/08/08

日付 DATE	部屋番号 ROOM No.	摘要 DESCRIPTION	ご料金 CHARGE	備考 REMARKS
08/08	1743	宿泊料	9,070	
08/08	1743	宿泊税	200	

ご署名
SIGNATURE

ご利用金額
TOTAL AMOUNT

¥9,270

(ご利用金額には消費税 ¥671 を含みます。)
A consumption tax 671 yen is included in the total price.
(ご利用金額には宿泊税 ¥200 を含みます。)
A accommodation tax 200 yen is included in the total price.

領収書-No 42
窓口-No 1

領 収 書

公明党 様

金額 ¥13,990円
「消費税等込み」

但し、乗車券類代金として

上記金額確かに領収致しました

2019年 8月 9日
株式会社ジェイアール東海ツアーズ

ご利用いただきましてありがとうございます

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 京 橋
税 務 署 承 認 済

京都支店

担当

領収書
RECEIPT

公明党 立川市議会

様

¥9,270 -

(内宿泊税 ¥200 内消費税 ¥671)

但し ご宿泊代として

上記正に領収致しました。

HOTEL
ELCIENT
KYOTO

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町13
TEL: 075-672-1100 FAX: 075-672-9988

収
入
印
紙

日付: 2019/08/08 No.486874-DP
CA 9,270

担当: ■

政務活動費領収書等貼付用紙

領収証

公明党 立川市議会議員
高口 靖彦 様

No.

2019 年 8 月 8 日

金 額 **¥15,000**

但 8月8日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

内	
消費税等	
現金	

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

領収証

公明党立川市議会議員
高口 靖彦 様

No.

2019 年 8 月 9 日

金 額 **¥25,000**

但 8月9日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

内	
消費税等	
現金	

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

議員・職員のための

議会のシティズンシップ教育と広報

～対話・参加・協働の人づくりまちづくり～

in 東京・京都



講師 吉村 潔

【エディター・広報アナリスト】

上場企業の広報を中心に大学広報、会報誌などの制作に長年携わる。日本広報協会・広報アドバイザー、全国広報コンクール審査委員(広報紙部門・写真部門)、町村議会広報家影響賞受賞。市町村アカデミー(行政広報・議会広報)講師。著書に「実践・広報紙づくり」「広報ハンドブック～メディアづくりのノウハウ～」等がある。「月刊広報」(日本広報協会)に「議会広報の改革はどこまで進んできたか」(2014年)、「聴く議会・変わる広報」(2018年)を連載。「地方議会人」(中央文化社)で「市町村議会広報クリニック」を隔月担当。

7/18(木) 10:00~13:00 東京

8/8(木) 10:00~13:00 京都

議会のシティズンシップ教育と広報

1. 18歳選挙権と議会
2. シティズンシップ教育の多様な形
3. 学び・対話から参加・協働へ
4. 事例／児童と議会・親子議会
5. 事例／中学生と議会
6. 事例／高校生と議会
7. 事例／大学生と議会
8. インターンシップ、キャリア支援
9. 広報に若い世代の声を活かす
10. 若年世代とのコラボレーション
11. 若い世代の意見と政策形成
12. 新たな切り口を求めて

7/18(木) 14:00~17:00 東京

8/8(木) 14:00~17:00 京都

議会広報紙クリニック

1. 広報紙づくりの基礎知識
2. 広報紙クリニック／評価ポイント
3. 広報紙クリニック／改善点の提案

※クリニックを希望される場合は、「地方議会総合研究所」宛、早めに広報紙(2部)をご送付ください。

(株)地方議会総合研究所

自治体行革、経営効率化に向けて

事例を踏まえて外部委託・民営化の法制度を学ぶ!

in 東京・京都



講師 松村 享(まつむら すずむ)

【名古屋学院大学法学部教授】

同志社大学法学部法律学科卒。四日市市役所に入庁し、20数年間法務を担当。総務部理事、会計管理科を経て平成30年4月から退職。日本経営協会、市町村アカデミー、全国市町村国際文化研修所等で、自治体契約制度、条例立案論、外部委託制度、情報公開制度等の講師を務めている。著書に「自治体職員のための契約事務ハンドブック」「自治体職員のための住民監査請求・住民訴訟の基礎知識」「基礎から学ぶ入門地方自治法」等多数。

東京 / 7月19日(金)

10:00~17:00

京都 / 8月9日(金)

10:00~17:00

1. 行政事務の外部化

- (1)事務処理の民間化 (2)サービス提供主体の民間化 (3)民間事業者による行政権限の行使 (4)公共施設の管理における民間化 (5)施設整備の民間化

2. 契約による行政事務の民間化

- (1)契約の種類 (2)自治体契約の締結手続 (3)契約締結前に必要な手続

3. 特法に基づく民間化

- (1)PFI (2)コンセッション制度 (3)市場化テスト法 (4)「公の施設」の指定管理者制度 (5)公金に関する委託

4. 外部委託に向けた検討

- (1)民間化の検討 (2)具体的な検討の流れ

5. 外部化事業のモニタリング

- (1)モニタリングの目的 (2)モニタリングの手法 (3)モニタリング結果の反映

6. 行政事務の外部化と損害賠償責任

- (1)第三者に対する損害賠償責任 (2)公務員の責任

7. 職員の処遇及び外郭団体の取扱い

- (1)職員の処遇 (2)外郭団体職員の取扱い

議会広報クリニック

1. 研修先

視察日時：令和元年8月8日（木）午後2時～午後5時
場所：京都市京都テレサ（京都府民総合交流プラザ）
対応者：講師 吉村 潔 日本広報協会・広報アドバイザー

2. 参加者

高口靖彦

3. 内容及び感想

はじめに、基本的なことの確認

一般的に、企画・編集のプロセスとして、モチーフ（テーマ・対象・コンテンツ）→切り口（軸足の設定・情報の編集）→ストーリー（ページ構成・展開の手法）があり、切り口（視点）がないと、ただの「説明」になってしまう場合が多い。

具体的なアプローチとしては、モチーフに対してキーワードを書き出し整理し、情報の編集・情報のデザインを決め、ねらいに沿って企画の切り口を決めていくことになる。

また数字表記の基本として、金額の表記、単位記号の表記、タテ組の数字の表記を確認。

タイトルの付け方としては、様々な実際の広報の例を挙げながら、下記の点について示された。

- ①力まず、日常のさりげない言葉
- ②読者への「語りかけ」
- ③内容が気になる、知りたい
- ④数字もタイトルになる
- ⑤企画を工夫するとタイトルもおもしろくなる

そのほか、「色づかいを整えるのが基本」、「トーンを合わせ、なじみの良い配色」、「色を”情報”という視点で使いこなす」、「色が情報を分ける」、「色づかいでイメージを

演出できる」、「写真のコミュニケーション力」、「グラフも軽快なイメージに」、等々わかりやすく説明頂いた。

基本的なことを説明された後、本セミナーに参加した自治体の実際の議会報について、クリニックして頂きました。無論、立川の議会報についても。

10 地方自治体程の議員、議会事務局が参加されていた。感じたのは、何処の自治体も議会報の取り組みをしっかりされているということ。議会にきちんと広報広聴(特別)委員会を設置されている。

制作体制、事務局との役割分担、編集方針、力を入れている点、苦労していること、市民の反響等、伺いました。立川市議会報は、如何でしょうか。

議会報に力を入れている議会の方々は、異口同音に大変だと言われていた。企画、編集・構成、出版等に至るまで関わられているため、当然、大変だと思われる。が、それをしなければ、議会と市民の距離が縮まらない。

私自身は議会改革の要が、議会報やツイッター(SNS)等の改善だと思っている。未だ緒にも就いていないが、いつの日か、“立川の議会報は変わったね”と、良い意味で、市民の方に言われるように取組んでいきたい。

本セミナーは大変勉強になりました。ありがとうございました。

自治体行革、経営効率化に向けて

1. 研修先

視察日時：令和元年8月9日（金）午前10時～午後5時
場所：京都市京都テレサ（京都府民総合交流プラザ）
対応者：講師 松村 亨 名古屋学院大学法学部教授

2. 参加者

高口靖彦

3. 内容及び感想

はじめに確認

地方自治法第一条の二に、「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」と規定。

同時に、第二条の14に、「地方公共団体は、その事務を処理するに当つては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。」と規定。

住民の福祉の向上は基本で、且つ、最小の経費で最大の効果を出すことが難しいものの。。。

人口減少、少子高齢化時代の今日、行政の民間化、民営化の流れの中で、地方自治体においても民間委託、指定管理者制度、PFI等が進んでいる。その概要を改めて学習。

契約による行政事務の民間化について、丁寧に伺った。

- ①請負契約
- ②委任契約（委託契約）
- ③労働者派遣契約
- ④ファイナンス・リース契約

- ⑤売買契約
- ⑥贈与契約
- ⑦賃貸借契約

平成 23 年 PFI 法の改正により導入されたコンセッション(公共施設等運営権)制度についても、詳しく学ばせて頂いた。地方自治体においては、上下水道の料金徴収を伴う公共施設などが対象となる。

また、市場化テスト、「公の施設」の指定管理者制度について等、多くのことを学ばせて頂いた。

私たち議員が直接、知らなくて良いことも多々あると思われるが、行政がしていることは、多岐で複雑なことが多い。良く理解できていない職員の方もいると思う。

普段、何気なく効いている用語について、事例を通して、改めて確認が出来た。私自身、出来るだけ、学ばなければと思う。

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	令和元年 8月22日				
場 所	東京ガス供給指令センター・保安指令センター				
相 手 方	東京ガス株式会社 多摩支店				
参加者氏名	高口靖彦、大沢純一				
目的・内容 結果 等	東京ガス株式会社の地震防災対策に関する施設見学				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費			
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
		東京ガス供給指令 センター・保安指 令センター	J R	立川<一>浜松町	2880 円
					円
					円
					円
		参加費 (会費・負担金等)	内訳：参加費		円
		そ の 他	内訳：振込手数料		円
			内訳：		円
			内訳：		円
	合 計				2880 円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

東京ガス株式会社
地震防災対策に関する施設見学

日時：令和元年8月22日（木）午後4時～午後5時30分

場所：東京ガス供給指令センター・保安指令センター

主催：東京ガス株式会社 多摩支店

参加者：高口靖彦、大沢純一

1. 施設概要等

別紙

2. 感想

過日、東京ガス（株）多摩支店長様から、立川市議会に本センター視察の案内を頂きました。生活インフラとして、都市ガスは極めて重要です。同会派の大沢議員と共に視察させて頂きました。

都市ガス（東京ガス）は、どのようにガスを企業や各家庭に供給されるのでしょうか。

世界各地の天然ガス田から輸入されてきた液化天然ガス（LNG：Liquefied Natural Gas）は、4つ（根岸・袖ヶ浦・扇島・日立）の沿岸に設けられたLNG基地のLNGタンクに貯蔵されます。

この基地内でLNGを気体に戻し、ガスの品質を均一化した後、高圧導管、中圧導管、低圧導管と、それぞれの中継拠点で、順々にガス圧力が下げられ、最終的に各家庭等に供給されます。その仕組みがよく分かりました。また、このガス導管（高圧・中圧）の耐震性についても、優れていることが理解できました。

そして、供給指令センターで、24時間、都市ガスの製造・供給を集中監視し、コントロールされています。

また、地震時に安全にガスを停止する”超高密度リアルタイム地震防災シ

システム「SUPREME」”と呼ばれる独自システムを開発・導入されています。

東京ガス管内に約 4,000 基の SI センサー（地震計）を設置、約 1 km²に 1 カ所の高密度地震計ネットワークを構築されています。大地震発生から約 5 分以内に地震情報が集められ、被害状況を迅速に把握されます。

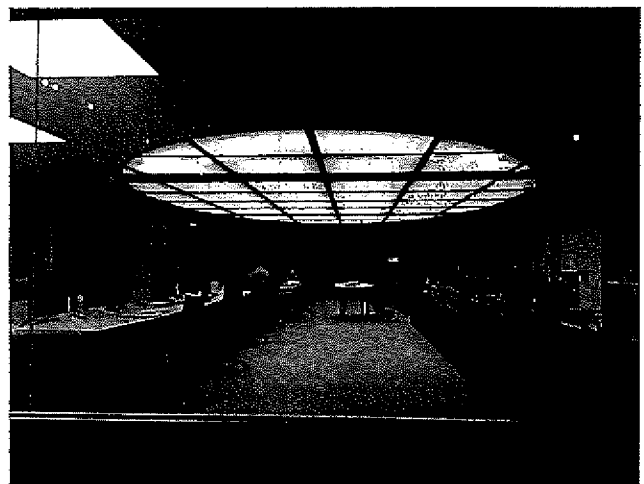
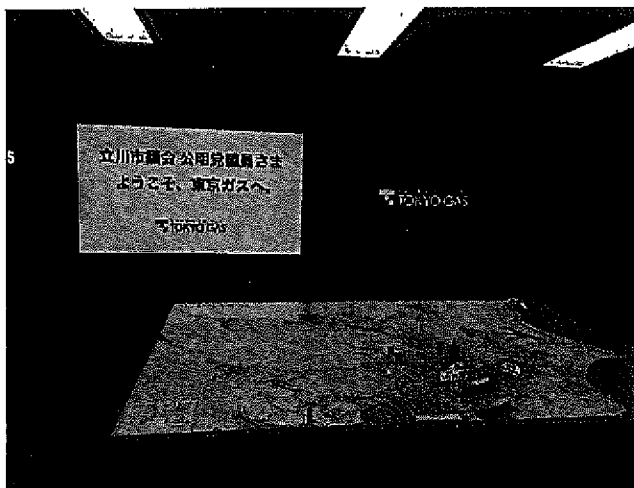
また、保安指令センターでは、24 時間 365 日、ガス漏れ等のあらゆる事態に備えて、迅速かつ的確に対応する体制を整えられています。

お客様センターなどに通報が入ると、ただちに「保安指令センター」へ転送。状況を確実にヒアリングしたうえで、各出動拠点と緊密に連携、現場に急行されます。管内 49 カ所の拠点に、約 600 名の保安のエキスパートが配置されています。

今度、注視したいと思いますが、街中で結構、東京ガスの緊急車両が走っていると思います。

そのほかにも、多くのことを伺いました。都市ガスという生活インフラを守るための最善の努力がなされていることを、実感しました。

今回のような民間の生活インフラの視察は、中々機会がありません。お忙しい中、このような貴重な機会を設けて頂き、丁寧に説明して頂いた多摩支店長をはじめ説明員の方々に心から感謝申し上げます。



活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	令和元 年 9 月 17 日			
場 所	第一ホテル両国 3 F KFCホール アネックス (東京都墨田区横網1-6-1)			
相 手 方	教育家庭新聞社			
参加者氏名	瀬 順弘			
目的・内容 結果 等	第60回教育委員会対象セミナー (東京) 教育委員会、教員等による、ICT機器の調達、セキュリティ対策、校務支援システム、プログラミング教材、児童生徒用端末の活用などについての講演や、関連企業のブースを見学し大変参考となった。			
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
		第一ホテル両国	JR中央線 JR総武線	立川<→>両国
				1,280円
				円
				円
				円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳：参加費		円
	そ の 他	内訳：		円
		内訳：		円
		内訳：		円
	合 計			1,280円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	令和元年 11月 3日			
場 所	東北福祉大学			
相 手 方	一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク			
参加者氏名	大沢純一			
目的・内容 結果 等	「第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会」に参加。 先駆的に自殺対策に取り組んでいる「NPO法人自殺対策支援センターライフリンク」清水康之代表。障がい児預かり事業から始まり、福祉制度の隙間を様々な人を繋げることで実施している「社会福祉法人ゆうゆう」の大原裕介理事長。虐待、家出、貧困など10代20代の女性を支える「NPO法人BONDプロジェクト」橘ジュン代表。罪を犯した障がい者や高齢者などの支援を行なっている「長崎県地域生活定着支援センター」の伊豆丸剛史所長。以上4団体の活動を聴講。			
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
		東北福祉大学	JR	立川駅⇄東北福祉 大前駅
			JR新幹線 やまびこ号	仙台駅⇄大宮駅
				円
				円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳：大会参加費		10,700 円
	そ の 他	内訳：		円
		内訳：		円
		内訳：		円
合 計				32,460 円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

月日	行程	発着時刻		運賃 特急料金	備考
11月3日 (往路)	立川駅	7:56発	JR中央線快速・東京行	6,050	立川⇒東北福祉大前
	西国分寺駅	8:02着			
		8:09発	JR武蔵野線・南船橋行		
	南浦和駅	8:38着			
		8:46発	JR京浜東北線・大宮行		
	大宮駅	8:58着			
		9:14発	JR新幹線やまびこ43号・盛岡行	4,830	指定席
	仙台駅	10:47着			
		10:58発	JR仙山線・愛子行		
	東北福祉大前	11:02着			
11月3日 (復路)	東北福祉大前	18:46発	JR仙山線・仙台行	6,050	東北福祉大⇒立川
	仙台駅	18:56着			
		19:10発	JR新幹線やまびこ54号・東京行	4,830	
	大宮駅	20:46着			
		21:12発	JR埼京線・新木場行		
	武蔵浦和駅	21:23着			
		21:35発	JR武蔵野線・府中本町行		
	西国分寺駅	22:01着			
		22:09発	JR中央線・立川行		
	立川駅	22:15着			
交通費・宿泊費			合計	21,760	
その他					
その他			合計	0	
調査旅費			(交通費・宿泊費+その他) 合計	21,760	
研究研修費			研修費	10,700	
研究研修費			合計	10,700	
資料購入費					
資料購入費			合計	0	
			総計	32,460	

経費項目	研修費		
支出の目的	交通費	金額	¥21,760
明細	乗車券・特急券	年月日	R1.11.3
支払先名称	JR東日本	領収書NO.	
支払先住所		領収書添付要否	

領 収 証

2019年10月21日

公明党 様

金9,660円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
立川331 No.000006

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

領 収 証

2019年11月 3日

公明党 様

金6,050円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
大宮432 No.000004

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

領 収 証

2019年11月 3日

公明党 様

金6,050円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
東北福祉大前401 No.000003

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

経費項目	研修費		
支出の目的	参加費	金額	¥10,700
明細	第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	年月日	R1.11.3
支払先名称	一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク	領収書NO.	
支払先住所	東京都新宿区大久保2-4-15 サンライズ新宿3F	領収書添付要否	

公明党 様

領 収 書

金 10,700円

但し、第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会
参加費として上記金額正に領収いたしました。

令和元年11月3日

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-4-15 サンライズ新宿3F
一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク
第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会

実行委員長 奥田 知志
TEL 03-3232-6131

第6回

生活困窮者自立支援 全国研究交流大会

「困難の折り重なりに生きる人々に支援は届いているか？！
(人の尊厳に根ざす)生活困窮者自立支援の価値(意義・意味)を問う」

開催日

2019年11月3日【日】・4日【月・祝】

会場

東北福祉大学 国見キャンパス／1日目 全体会

東北福祉大学 ステーションキャンパス館／2日目 分科会



主催

一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク
第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会実行委員会

NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク(東京都千代田区)
自殺予防や自死遺族ケアなどの自殺対策を行っている全国の団体や個人などに対して、活動促進のために必要な実態の調査や関連情報の提供などを行うことで、より効果的な自殺対策が行われるような支援や、自殺対策のために情報提供や社会に対する提言を積極的に行う。

NPO法人BONDプロジェクト(東京都渋谷区)
孤立した少女を対象に取材活動を行っているライターの橋ジュン氏を代表とし、2009年にNPO法人を設立、渋谷区を拠点に活動。10代~20代の生きづらさを抱え、孤立した少女を「漂流少女」と名付け、女性による支援を行う。

社会福祉法人ゆうゆう(北海道当別町)
地域共生型オープンサロン「ガーデン」や共生型コミュニティ農園「べこべこのはたけ」など、地域住民と一緒に活動に力を注ぎ、子どもからお年寄りまで、障がいのあるなしに関わらず地域全体で支え支えられる共生のまち創りの実現を目指す。

長崎県地域生活定着支援センター(長崎県諫早市)
障がいや高齢などの理由により、福祉的な支援を必要とする方が矯正施設を出所するにあたり、出所後に福祉サービス等につなげられるよう支援(出口支援)を目的として2009年1月、全国に先駆けて開設された都道府県設置機関。出口支援に留まらず、被疑者・被告人段階での支援(入口支援)にも積極的に取り組む。

生活困窮者自立支援制度は5年を迎えました。この制度が抱える課題はどこにあるのでしょうか?『役立つ支援と知っているのはつながることができた人だけで、真に困っている人はつながらず、誰も知らない』とする現状評価はあながち過剰では無いでしょう。申請主義や利用者主義で形作られてきたこれまでの『支援のカタチ』の限界を乗り越え、必要とされる人に、あるいは未定形な生きづらさを抱える方にも届く『支援』を大いに語ります。

第一部では各分野の第一人者をお迎えし、忌憚りの無い厳しい提言を。第2部ではそれを受けて生活困窮者自立支援制度が真にその目的を果たす取り組みとなるような『熱盛!議論』が期待されます。

12:40~13:10

提言1 「自死予防」

NPO法人 自殺対策支援センターライフリンク

代表 清水 康之

13:10~13:40

提言2 「共生のまち創り」

社会福祉法人ゆうゆう

理事長 大原 裕介

13:40~14:10

提言3 「女性による女性支援」

NPO法人 BONDプロジェクト

代表 橋 ジュン

14:10~14:40

提言4 「刑余者支援」

長崎県地域生活定着支援センター

所長 伊豆丸 剛史

14:40~15:00

休憩

15:00~17:20

シンポジウム 「生活困窮者自立支援制度で誰かに支援は届いているか」

登壇者

NPO法人 自殺対策支援センターライフリンク	代表 清水 康之
社会福祉法人ゆうゆう	理事長 大原 裕介
NPO法人 BONDプロジェクト	代表 橋 ジュン
長崎県地域生活定着支援センター	所長 伊豆丸 剛史
厚生労働省 社会・援護局地域福祉課	
生活困窮者自立支援室 地域共生社会推進室	室長 吉田 昌司
生活困窮者自立支援全国ネットワーク	代表理事 奥田 知志

司会進行

生活困窮者自立支援全国ネットワーク	代表理事 宮本 太郎
-------------------	------------

17:20~18:00

国会議員からのエール

住民の生活ニーズに寄り添う地域共生社会時代は、そうした社会の動きと政治がつながる時代でもあります。昨年の改正法成立にご尽力された国会議員の皆様が登壇します。

自由民主党
公明党
立憲民主党
国民民主党

18:30~20:00

大懇親会

第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会

参加登録・(会員加入)・懇親会・宿泊プラン・昼食弁当 申込みのご案内

開催期日：2019年11月3日(日)・4日(月・祝)

会 場：東北福祉大学 国見キャンパス(1日目全体会)／3日

東北福祉大学 ステーションキャンパス館(2日目分科会)／4日

ご挨拶

「第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会」が開催されますことを心から歓迎申し上げます。

ご参加の皆様方のご便宜を図るため、ご宿泊等のお世話を株式会社 JTB 仙台支店でお取り扱いさせて頂くことになりました。大会のご成功に向け、精一杯のお手伝いをさせていただきますので、皆様方のお申込をお待ちしております。

※会員加入に関しましては、「一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク」が対応いたします。

株式会社 JTB 仙台支店

支店長 大久保 毅彦

《1》お申込み方法のご案内

(1) 参加登録・(会員加入)・懇親会・宿泊プラン・昼食弁当のお申し込み

お申込書に必要事項をご記入いただき、FAX、または郵送にて 10月7日(月)までにお申込み下さい。電話での申込は承りません。

ご登録いただきました個人情報の管理には当社個人情報保護方針にもとづき適切な体制で臨んでおります。FAX 到着後の個人情報の管理には充分注意をしておりますが、FAX を送信される際はくれぐれも誤送信等、ご注意ください。あわせてお手数ですが、FAX の着信確認のご連絡をお願いいたします。

(2) 予約確認書(宿泊先回答書)・請求書のご送付

会期 1 カ月前を目安にご予約内容の確認書類及び請求書をお送りさせていただきます。団体での申し込みの場合は、一括での請求・送付となりますので、ご了承ください。

(3) ご旅行代金のお支払い

請求書が到着次第、請求書に記載の期日までにお振込みをお願いします。(振込手数料はご負担願います。)

《2》大会登録のご案内 ※当社は、事務局様より代行収受を承っております。

■参加費 おひとり 10,000円

■会場の都合により、初日の全体会は第1会場(700人収容/先着順)と第2会場(300人収容)に分かれ、第2会場は第1会場からの生中継となります。また分科会は、会場の都合で希望される分科会にご参加いただけない場合があります。ご了承ください。

■参加申込み後の変更・取消については、「8. 変更・取消について」をご参照ください。

■お申込みお一人様につき、取扱手数料として別途 700 円を申し受けますので、ご了承ください。

申込先 FAX: 0120-937-224 *個人情報保護の観点から、申込書を FAX する際は番号の押し間違いにご注意いただき、着信確認をお願いします。

「第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会」参加申込書

都道府県 東京都		団体名 公明党 立川市議会議員						申込責任者 大沢 純一				受付番号					
所在地 〒190-0033 東京都立川市一番町 4-35-2/ 送付先に○印をお願いします→ (自宅) 勤務先)						TEL (042) 506-8605 FAX				携帯電話 () *可能な場合のみ E-mail アドレス							
フリガナ	性別	年齢	団体 役職	大会参加申込			11/3 (日) 1日目	11/4 (月・祝) 分科会 (2日目)				4日	宿泊プラン ※ご宿泊日に○印を、第1希望、 第2希望を記号でご記入ください。				
				10,000 円			懇親会	午前		午後		お弁当 1000 円					
参加者氏名				現在 会員	会員 希望	一般	参加費 4,000 円	第1 希望	第2 希望	第1 希望	第2 希望		希望日	11/2 (土)	11/3日 (日)	11/4 (月・祝)	おたばこ
例	センダイ タロウ	男	50	会長	○		○	4	6	5	6	○	第1希望				禁煙
	仙台 太郎												第2希望				禁煙
1	オオサワ ジュンイチ 大沢 純一	男	48	議員	○		✕						第1希望				
													第2希望				
2													第1希望				
													第2希望				
3													第1希望				
													第2希望				
4													第1希望				
													第2希望				

*「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」に賛同し、会員希望の方は別紙会員申込書に記載の上、事務局までお送りください。なお、全国ネットワークに入会希望があり、会員申込書のご提出がない場合は、参加申込書を会員申込書に兼ねさせていただきます。※会員特典として参加費より会費3,000円を振替させていただきます。

*個人情報保護の観点から、申込書を FAX する際は番号の押し間違いにご注意ください。

*用紙が足りない場合は、コピーして、ご使用ください。変更・取消の場合は、控えに加筆・修正をして FAX してください。

申込・お問合せ先: JTB ビジネスネットワーク・JTB 東北 EC デスク TEL:0120-989-960 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 6 階

月日	行程	発着時刻		運賃 特急料金	備考
11月3日 (往路)	立川駅	7:56発	JR中央線快速・東京行	6,380	立川⇒東北福祉大前
	西国分寺駅	8:02着			
		8:09発	JR武蔵野線・南船橋行		
	南浦和駅	8:38着			
		8:46発	JR京浜東北線・大宮行		
	大宮駅	8:58着			
		9:14発	JR新幹線やまびこ43号・盛岡行	4,830	指定席
	仙台駅	10:47着			
		10:58発	JR仙山線・愛子行		
	東北福祉大前	11:02着			
11月3日 (復路)	東北福祉大前	18:46発	JR仙山線・仙台行	6,050	東北福祉大⇒立川
	仙台駅	18:56着			
		19:10発	JR新幹線やまびこ54号・東京行	4,830	
	大宮駅	20:46着			
		21:12発	JR埼京線・新木場行		
	武蔵浦和駅	21:23着			
		21:35発	JR武蔵野線・府中本町行		
	西国分寺駅	22:01着			
		22:09発	JR中央線・立川行		
	立川駅	22:15着			
交通費・宿泊費		合計		22,090	
	その他				
その他		合計		0	
調査旅費 (交通費・宿泊費+その他) 合計				22,090	

	研究研修費		研修費	10,700	
	研究研修費	合計		10,700	

	資料購入費				
	資料購入費	合計		0	

			総計	32,790	
--	--	--	----	--------	--

第6回 生活困窮者自立支援全国研究交流大会

「困難の折り重なり生きる人々に支援は届いているか?!」 (人の尊厳に根ざす)生活困窮者自立支援の価値(意義・意味)を問う」

通信 1

歓迎挨拶



一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事
岡崎 誠也 (高知市長)

生活困窮者自立支援法が施行され、早くも4年が経過いたしました。

昨年6月の法改正では、「社会的孤立」にスポットを当て、関係性の貧困から困窮状態に陥ることを定義づけ、課題を抱えた方を捉える入口を大きく拡大することが重要であることを、広く社会に呼びかけています。

この制度の充実をさらに迫っていくなか、多くの課題

が発生しますが、このネットワークは、支援の必要な方々の抱える課題解決に向けた大きな希望であること、そして、困難な社会的課題に立ち向かう支援者自身もバーンアウトしない、ともに苦しみやよるこびを分かち合えるいつでも立ち寄れる「居場所」であることを、第6回全国研究交流大会の場で再認識したいと考えています。

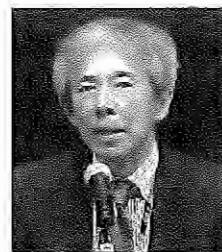
一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事 宮本 太郎 (中央大学法学部 教授)

孤立と困窮にいかに向かうか。今年はこれまでも増して、この課題をはっきりとつきつけられる年となっています。

3月には、内閣府が、40歳から64歳までのひきこもりが61万人を超えていて、そのうち半数近くが7年以上ひきこもっているという推計を発表しました。現役世代のひきこもりの数は115万人以上に達することが明らかになったのです。5月から6月にかけて、ひきこもり問題とも関連する事件が続き、衝撃をもたらしました。

この国で安定した生活から人々を弾き出す圧力が常に働いていて、いったん弾き出されると、やり直し、後戻りが困難であることが改めて明らかになりました。生活困窮者自立支援制度は、こうしたなかで、多様な困難を抱えた人々を社会にむすびつけていくさまざまな回路を創り出す仕組みです。

この制度が、この重要な課題を果たしていくために今求められることは何か。第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会で議論を深めましょう。



一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事 奥田 知志 (NPO法人抱樸 理事長)



皆さま、第6回仙台大会によろこばいございました！心より歓迎を申し上げます！

今年のテーマは、「困難の折り重なり生きる人々に支援は届いているか?!」です。私たちが困窮者支援において目指したものは、「縦割り」を超えて「その人をその人として丸ごと受け入れる」という仕組みでした。つまり、「断らない」ということを国と社会が約束したのです。この「とてつもない約束」に対して、各地で創造的努力が重ねられてきたと思います。ただ、一

方で「困窮者自立支援制度」が「新たな縦割り」となっていないか心配になります。私は今回の大会で、「届いているか」を「自問」したいと思います。

制度の理念は、今や「地域共生社会」へと広がっています。それをリードしていくのは先駆者である皆さんです。制度から人を見るのではなく、「目の前にいるひとりの人」からすべてを考え動き出す。この原点を、今一度大会において確認したいと思います。

第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会に寄せて 全国研究交流大会 メッセージ

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク 顧問 村木 厚子 (元厚生労働省事務次官)

いよいよ、第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会が開幕します。皆さま、よろこばい仙台へ！

生活困窮者自立支援法は、この間の多くの関係者の皆さまの実践を踏まえて、法改正が行われ、充実・強化されました。しかし、この法律は、「この法律

だけでは自立できない法律」とも言われます。その心は、ほかのすべての法律や制度を駆使して困窮者の自立を支援することを想定しているからです。

今回の大会では、この他制度、多分野の実践者が数多く登場し、どうやって「みんなで困窮者支援

を進めるか」を考えます。ちなみに、国連の定めたSDGs(持続可能な開発目標)の目標の第1は、「貧困をなくそう」、そして第17は、「パートナーシップで目標を達成しよう」です。この大会で仲間を増やしましょう！

第6回全国研究交流大会に参加されている皆さんへのお願い

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク 前顧問 山崎 史郎 (駐リトアニア特命全権大使)

今年で6回目を迎えるこの大会は、日々困難な状況に遭いながらも、自立支援に取り組んでいる人たちが、せめて年に1度は集い、語り、そして助け合いながら前に向いて進んでいこうという趣旨で始まったものです。

人は決して一人ではありません。多くの人が自分と同じような問題に苦しみ、同じような悩みを抱えています。だからこそ、ほかの人と「つながる」こ

とによって、困難を乗り越えていくことができます。

私が今住んでいるリトアニアの人々も、かつてソ連併合下で同じような境遇に苦しんでいたラトヴィア、エストニアの人々とともに、600キロを200万人が手をつなぎ合いました(人間の鎖)。その30周年記念の今年、多くの市民が再び手をつなぎ合いました。私も参加しましたが、手をつなぎ合った隣の人から、大きな元気をもらったような気持ちにな

りました。

開会式の最後に出席者全員で手を「つなぎ合い」ませんか。支援の現場で同じような課題に苦しんでいるからこそ、支援者同士も「つながる」ことが大事だからです。



第6回 生活困窮者自立支援全国研究交流大会

「困難の折り重なり生きる人々に支援は届いているか?!」

(人の尊厳に根ざす)生活困窮者自立支援の価値(意義・意味)を問う」

通信 2

開会のあいさつ 開会に先立ち、台風19号及び豪雨被害により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りし、黙とうをささげました。

一般社団法人・生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事
宮本 太郎さん(中央大学 法学部 教授)

第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会によろこお申すことができました。

東日本大震災の2年後、生活困窮者自立支援法が成立しました。この制度を生み出し、支えてきた人たちの「連帯の力」で希望の灯をともし続けよう」という思いは、震災復興の精神が流れ込んでいることは間違いありません。

厚生労働大臣

加藤 勝信さん(厚生労働事務次官 鈴木 俊彦さん代読)

生活困窮者自立支援や、その支援を通じた地域づくりに取り組む皆さんに敬意を申し上げます。

厚生労働省では、今年度から3年間、就労準備支援事業・家計改善支援事業の一層の普及を目指しています。また、地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会でも議論を進めています。



宮城県知事

村井 嘉浩さん(宮城県保健福祉部長 伊藤哲也さん代読)

開催県として、全国各地からお越しいただいた皆さまを歓迎申し上げます。

宮城県でも、自立支援相談、子どもたちの学習支援、子ども食堂活動支援をつうじて、困窮に陥る可能性のある家庭の早期の発見、包括的・継続的支援に取り組んでいます。

仙台市長

郡 和子さん

市の仙台にお越しいただいた皆様を歓迎いたします。本市では、東日本大震災後の被災者生活再建支援で得たノウハウを生かし、ワークファーストをベースとして、伴走型、オーダーメイド型の支援に積極的に取り組んでいるところです。

東北福祉大学 社会福祉学部 学部長

塩村 公子さん

来年度145周年を迎えるわが校での大会開催を光栄に感じています。大会が、厚生労働省の事業の一部に位置づけられたことは喜ばしく、また、誰にでも起こりうる生活困窮をテーマに、地元の国見地区連合町内会をはじめさまざまな協力を得て開催できますことを意義深く感じております。

国見地区連合町内会 会長(仙台市青葉区)

吉澤 秀晃さん

皆さんようこそ、東北福祉大学のある国見地区にお越しいただきました。21の町内会で構成される国見地区では、学生と地域が連携して、大学行事や地域行事を一緒に企画運営しており、今大会の準備も協力して進めてまいりました。希望あふれる人づくりの大会となることを願っております。

全国から集まっている皆さんと、地域・分野を超えて学び合い、交流し合ひましょう!



一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク第六期社員総会 報告

2019年11月3日(日)10~11時、東北福祉大学国見キャンパス3号館321教室にて、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク第六期社員総会を開催しました。社員64人のうち本人出席25人、書面議決書9人、委任出席17人で、合計51人が出席され、本総会が有効に成立しました。議長の宮本太郎中央大学法学部教授(一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事)のもと、「第一号議案

平成30年度活動報告承認の件」「第二号議案 平成30年度決算報告承認の件、監査報告」「第三号議案 役員選任の件」「第四号議案 令和元年度活動方針決定の件」「第五号議案 令和元年度予算決定の件」が審議され、すべて承認可決されたことを報告いたします。なお、議案書につきましては、生活困窮者自立支援全国ネットワークのホームページ上にアップロードいたします。



2日目見どころ案内

分科会1 困難にある人が「ともに働く」地域づくり ～地域共生社会を展望して

「地域の底から、社会をつくる。誰もが不安を抱える今だからこそ、見えてくるものがある。高度経済成長の終焉から約半世紀、急激な人口減少社会、ますます広がる貧困や格差は、否応なく私たちのまにさまざまな価値観の転換を求めています」(映画『Workers 被災地に起つ』より)。

支援団体、企業、当事者など、それぞれのお立場から、ともに働くこと、ともに地域を再生し、ともに社会をつくるにはどういったことなのか、一緒に考えたいと思っています。

●コーディネーター:

ワーカーズコープ・センター事業団
東京三多摩・山梨事業本部 事務局長 扶緒 文重

分科会2 相談支援の受発注をめぐる 契約制度を問い直す

～事業評価と事業所の「社会的価値」を反映した契約にするために～

生活困窮者自立支援事業は、行政直営または公募等による委託契約によって、NPO、社会福祉法人、株式会社などが行っています。公募は、単年度または複数年度で行われますが、選定にあたっては、事業の質が適切に評価されることが求められます。また、そのためには、事業の質を客観的に評価する指標が必要です。

この分科会では、モデル的な指標と、契約のあり方につ

いて議論します。

●コーディネーター:社会福祉法人生活クラブ風の村
理事長 池田 徹

分科会3 包括的支援体制の構築をめざした地域福祉計画 ～新たな自治体の役割～

第3分科会では、「地域福祉計画」をテーマに、どうしたら市町村ごとに「包括的支援体制」を構築していけるかを話し合います。2018年度から社会福祉法の改正によって、市町村の地域福祉計画は大きく変わりました。生活困窮者支援に関する施策は、自治体計画である地域福祉計画にきちんと盛り込まれていなければなりません。

皆さんの自治体の地域福祉計画はどうなっていますか。計画があるだけでなく、進捗管理がなされ、計画に基づいて包括的支援体制を、行政と地域住民、専門職が協働して構築していくことが必要です。

全国でも先駆的に取り組んできた岡山市、藤沢市、伊賀市の事例と、地域福祉専門官からの最新の情報をもとに、ケイカクのことを熱く語り合います。

●コーディネーター:日本福祉大学 副学長 原田 正樹

分科会4 生活困窮者自立支援事業 が担う「協働の中核」

「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくり」をいかに実現するかについて、地域共生社会推進検討会にお

いて議論が続けられています。一方、それを推進する協働の中核の取り組みが各地で進められています。事例発表により、それぞれが描いている絵、その実現の手立て、手順について、また課題等についても話していただきます。そして、参加の皆さんと一緒に、協働の中核として求められることは何かを探っていきます。

●コーディネーター:日本社会事業大学専門職大学院
客員教授 渋谷 篤男

分科会5 現地企画①平時の地域づくり は被災者も支える

～災害ケースマネジメントと生活困窮者自立支援～

今年は甚大な台風被害が頻発し、たくさんの犠牲者や困難を抱えた人たちがいます。以前の災害も含め、全国の被災地の皆さんと第5分科会で検討を深めます。原発事故の広域避難者は、皆さんの地域にもたくさんいるかもしれません。生活再建が難しく、困窮する被災者も多くいます。しかし、誰も断らないことが旨であるはずの生活困窮者自立支援制度で、被災者を支えるという発想や準備はまだまだ希薄です。生活困窮者自立支援制度も深くかかわって、被災地で広がる伴走型の被災者支援「災害ケースマネジメント」を考え、今・将来の災害に備えませんか?

●コーディネーター:京都経済短期大学 講師/
人と防災未来センターリサーチフェロー 菅野 拓

活動記録簿

会派・議員名

公明党

年 月 日	令和元年 11月 30日			
場 所	立命館東京キャンパス（千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階）			
相 手 方	未来の先生展2019実行委員会（東京都豊島区、実行委員長：宮田純也）			
参加者氏名	大沢純一			
目的・内容 結果 等	未来の先生展セミナー「いじめ・不登校の未来」 心理カウンセラーの鈴木雅幸氏が「～子どもたちが教えてくれた～ 不登校・いじめ、対応の力 ギ」と題して講演。なぜ「不登校」「いじめ」の解決が難しいのかについてその理由を挙げ、大 人が取るべき対応を示した。その後、不登校新聞編集長の石井志昂氏と「不登校の子が未来を拓 く関係づくり」としてフリートークを行った。			
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
		立命館 東京キャンパス	JR	立川駅⇄東京駅
				1,298円
				円
				円
				円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳：参加費		3,000円
	そ の 他	内訳：クレジットカードポイント 差引		-30円
		内訳：		円
		内訳：		円
	合 計			4,268円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してく
ださい。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出
してください。

チケット番号

F_23



3,000円

イベント名 未来の先生展2019セミナー

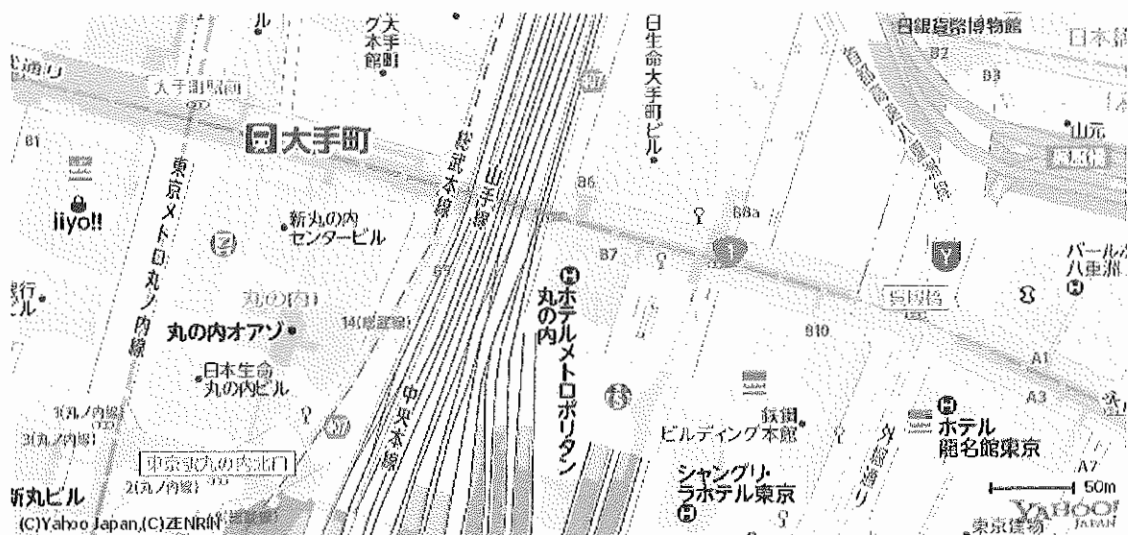
チケット名 【第6回】11/30(土)15:00~18:00 “いじめ・不登校の未来” 鈴木雅幸 x 石井志昂

開催日時 2019/06/14(金) 18:00~ 2019/12/20(金) 20:30

開催場所名 立命館アジア太平洋大学 東京キャンパス

開催場所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー



購入者名 スマとく elite5b

注文番号 01216V10NB89R

PassMarket

ご利用代金請求明細書
大澤 純一 様

2020/04/14

楽天カード株式会社
本社／東京都港区南青山二丁目6番21号
電話番号／03-6740-6740 (代表)

2019年12月 ご請求金額
円
ご利用カード
楽天ゴールドカード (JCB)

お支払い日	返済方法	引き落とし口座	請求確定日	利用獲得ポイント	調整額	返金額
2019/12/27	口座振替	楽天銀行	2019/12/20		0円	0円

ご利用明細 (単位: 円)

利用日	利用店名	利用者	支払方法	利用金額	手数料	支払総額	当月請求額	翌月繰越残高
2019/11/25	ハーマン	本人*	1回払い	3,000	0	3,000	3,000	0

※ポイント支払いサービスをご利用された場合、ご利用ポイント分を差し引いた金額がご請求予定金額として表示されます。

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	令和元 年 12 月 6 日			
場 所	聖心女子大学 ブリット記念ホール（渋谷区広尾4-2-24）			
相 手 方	関東地方ESD活動支援センター			
参加者氏名	瀬 順弘			
目的・内容 結果 等	「SDGs文化祭」 SDGsに関心のある中高生が、3回の活動を通して課題解決につながる取り組みを考え、文化祭で各グループがポスターセッションやワークショップを展開。海洋ごみなど海の環境、ベジタリアン、信号機、受動喫煙問題、フェアトレードをテーマとしたブースを回り説明を聞いたりワークショップに参加した。			
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)		調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費	
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
		聖心女子大学	JR中央・山手線 外日比谷線	立川<-->広尾
				円
				円
				円
	参加費 (会費・負担金等)		内訳：参加費	
	そ の 他		内訳：	
			円	
			円	
			円	
	合 計			1,480円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	令和2年 1月11日				
場 所	立川市女性総合センター・アイム				
相 手 方	多摩助産師の会				
参加者氏名	高口靖彦				
目的・内容 結果 等	講演会 この子は育てにくいと思っても大丈夫				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費 <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費			
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
					円
					円
					円
				円	
	参加費 (会費・負担金等)		内訳：参加費		500 円
	そ の 他	内訳：振込手数料		円	
		内訳：		円	
		内訳：		円	
合 計				500 円	

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

領収証

公明党

様

¥ 500 -

但 講演会参加費として

上記正に領収いたしました。

(公) 東京都助産師会北多摩第一分会

2020年1月11日

領収書等貼付欄

この子は育てにくいと思っても大丈夫

日時：令和2年1月11日（土）午後2時00分～午後3時30分

場所：立川市女性総合センター・アイム

主催：多摩助産師の会

参加者：高口 靖彦

1. 講演会 内容

別紙

2. 感想

東京都助産師会北多摩第一分会主催で、講師は明星大学教授の星山麻木先生。一般社団法人こども家族早期発達支援学会会長をされ、立川市の特別支援教育にも携わられています。

”ぼくなんて生まれてこなければよかった・・・”

心優しい子どもたちから、なんどこの言葉を聞いたことでしょうか。との話しから始まりました。

うちの子がみんなと同じじゃない、、、

”フツウ”って、どういうことでしょうか。

ありていに言えば、平均・標準ということでしょうか。多数派と言えるかもしれません。

しかし、人は、生命体は、人工・機械ではありません。生き抜いていくために、一人一人違った人間が生まれてくるのです。世界人口70億、1人として全く同じ人間は存在しません。凸凹があったり、平があったりするのです。

人によって、認知（言語・記憶・動作）、感覚・感受性（視知覚、聴覚、味覚、身体感覚、触覚）が異なります。先天性のものも後天性のものもあるでしょう。当然のことと思います。

私自身、”フツウ”では無いと思っています。だからこそ、”こうでないといけない”との認識は、慎まなければならないと思います。大事なことは、自分の得意なこと、好きなことを活かしていけることだと思います。

金子みすゞの詩「私と小鳥と鈴と」を思い出しました。
”みんなちがって みんないい”、そういう社会を作りたいと思います。

素晴らしい講演だったと思います。

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	令和 2 年 1 月 2 7 日				
場 所	KP東京駅日本橋カンファレンスセンター（中央区八重洲1-2-16 TGビル）				
相 手 方	一般社団法人 地方議員研究会				
参加者氏名	瀬 順弘				
目的・内容 結果 等	午前：「マーケティング視点を活かした議員活動」 午後：「質問作成のためにおさえておくべき基礎知識」 午前は、行政・市民へ対して、言いたいことを伝えるのではなく相手に伝わるために、 理解と共感を意識することを学んだ。午後は、あるべき姿と現状の差を埋めるための政 策であることを基本に、説明責任、具体的な事実を挙げることなどを学んだ。				
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)		調査研究費・ 研修費 ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
		KP東京駅日本橋カン ファレンスセンター	JR中央線	立川<-->東京	1,300円
					円
					円
					円
	参加費 (会費・負担金等)		内訳：受講費		30,000円
	そ の 他		内訳：		円
			内訳：		円
			内訳：		円
	合 計				31,300円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してく
ださい。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出
してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

領 収 証

公明党 様 2020 年 1 月 27 日

★ ￥ 30,000 -

但 1/27(火)「アンケート」視点と活のした議員活動」
1/27(火)「質問作成」のために おこなった「基本知識」
2講座、研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297



市長	副市長	局長	次長	文書主任	係長	係	課長
(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)	(印)
閲覧・決裁印				保存・保管・永年・10年5年3年1年			

様式 3

令和 2 年 3 月 18 日

立川市議会議員 殿

会派名及び
代表者氏名
又は議員氏名
出張者氏名

公明党
高口靖彦
大沢純一

出張報告書

出張調査・研修を行いましたので、次のとおり報告します。

出張者氏名	大沢純一
出張期間	2020・2・15（土）～2・16（日）まで 1泊2日
出張先及び 調査・研修 項目	「第15回全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in とちぎ」参加

1 経路

2 調査旅費

24,638 円

鉄道賃等 運賃
特急料金
地下鉄等

3,960 円 (3,960 × 1 人 = 3,960)

4,800 円 (4,800 × 1 人 = 4,800)

円 (× 人 =)

航空賃 →

0 円 (× 人 =) (羽田空港使用料除く)

→ 円 (× 人 =)

バス

2,000 円 (2,000 × 1 人 = 2,000)

モノレール

円 (× 人 =)

旅行雑費 (2,200/2日)

2,200 円 (2,200 × 1 人 = 2,200)

宿泊料 (1泊)

9,178 円 (9,178 × 1 人 = 9,178)

その他 (夕食2,500/日)

2,500 円 (2,500 × 1 日 × 1 人 = 2,500)

3 研究研修費

5,440 円 (参加料5,000 + 振込手数料440 = 5,440)

4 資料購入費

円 (× 人 =)

合計

30,078 円

5 概要



政務活動費領収書等貼付用紙



お客様の幸せづくり
たましん

キャッシュサービス
ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。

ご利用年月日 取扱金庫 店番 機番 通番 カード発行金融機関 店番 口座番号

02-01-14 1360001 リ-0140 1360-0220- [redacted]

お取引内容

お取扱金種

お取引金額

万円 五千円 二千円 千円 500円 100円 50円 10円 5円 1円

お引出

¥5,000*

ご利用手数料

取引時間

おつり

お取引後の残高

¥440 12:18

[redacted] 支店

セシコワカモノヒキコリキョウトウシツセコウリョウ様
コウメイトウ オオサワシユンイチ様

印刷途中電話

係につなぎ用

お振込先または案内

The TamaShinkin Bank

環地事預局

一般社団法人橋本県若年者支援機構

〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和 2-7-5

全国若者・ひきこもり
協同実践交流会 in とちぎ
実行委員会

FAX

宛先:

大沢純一 不取

Re: 全国若者・ひきこもり協議会交流会 in とちぎ お申込要付いたしました

□にご確認お願いいたします

☐お振込みをお願いいたします

この度は、協働実践交流会にお申込みいただき誠にありがとうございます。

参加費のお申込みお願いいたします。お振込みいただきました時点でお申込は手続きは完了となります。

【お握込み先】

金融機關口下:

店番号:

口座番号:

名 産 ゼンコウカモノヒギコモリキョウドウジソセンコウリュウカイントチギジソコウインカイ

※振り込み手数料はご自身でのご負担いただきますようお願いいたします

【振り込み済切】

1 月 15 日

※2月16日のお弁当に關しましては、当日会場でお買い求めいただく形に変更になりました。お申
込いただきました方にはお弁当代を差し引いてお帰込みいただきますようお願い致します。変更のある
方は、2枚目の振込金額合計を修正させていただきますのでご確認ください。

第15回全国若者・ひきこもり協同交流会inとちぎ【参加申込書FAX用】

U25-010-020

所屬先 (※空欄でも可)				メールアドレス	
立川市議会議員				FAX番号	
住所・電話番号(報告書用)込みの方のみ					
〒				TEL:	

No.	フリガナ	①大会参加費(いすれかに○)			②16日のみ参加 2月16日のみ参加 2,500円	③特別分科会(1日)	④特別分科会(2日)	⑤お弁当 2月16日	⑥大会報告費
		氏名	年齢 [4,000円]	一膳 [6,000円]					
1	大沢 純一	○				8050円	17枚	○	○
2									
3									
4									
5									

送込先	郵便局記入欄:	
銀行名:	支店名:	口座番号:
口座番号:	普通預金	口座名:

銀行名	支店名	口座番号	口座名

送込金額合計①+②+③=	8,000円
↓送金の際の振込先	5,000円

FAXでの申し込みを要付しました。送込が切は 月 日 になります。郵送手数料はご自身でお願いいたします。

領 収 証

2020年 1月16日

公明党 様

金8,760円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

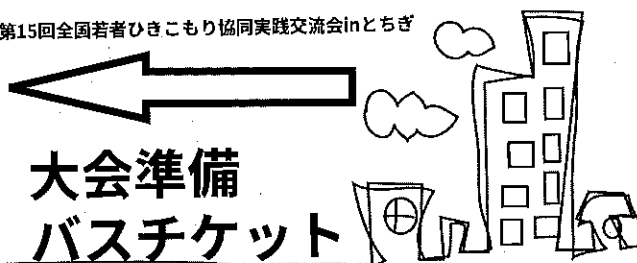
本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
立川804 No.000003

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渡 谷
税 務 署 承 認 済

印

第15回全国若者ひきこもり協同実践交流会inとちぎ



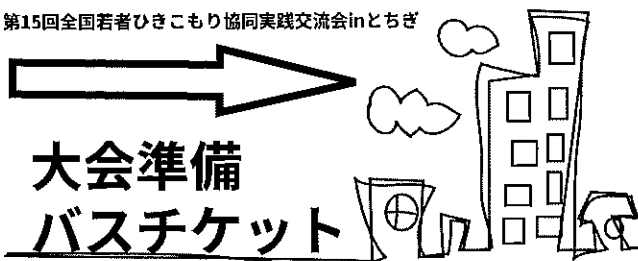
大会準備
バスチケット

2020年2月15日<<復路>>

500円バス代として領収しました。

全国若者・
ひきこもり・
協同実践交
流会inとち
ぎ実行委員
会

第15回全国若者ひきこもり協同実践交流会inとちぎ



大会準備
バスチケット

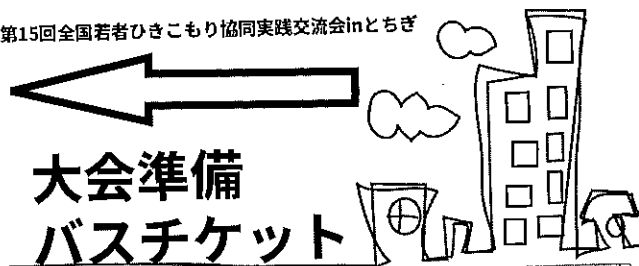
2020年2月15日<<往路>>

500円バス代として領収しました。

全国若者・
ひきこもり・
協同実践交
流会inとち
ぎ実行委員
会

協同実践交流会

第15回全国若者ひきこもり協同実践交流会inとちぎ



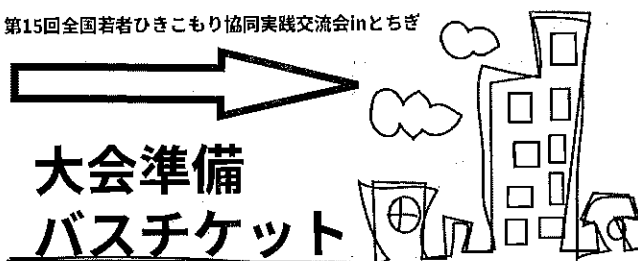
大会準備
バスチケット

2020年2月16日<<復路>>

500円バス代として領収しました。

全国若者・
ひきこもり・
協同実践交
流会inとち
ぎ実行委員
会

第15回全国若者ひきこもり協同実践交流会inとちぎ



大会準備
バスチケット

2020年2月16日<<往路>>

500円バス代として領収しました。

全国若者・
ひきこもり・
協同実践交
流会inとち
ぎ実行委員
会

0021-0001
会計日: 2020/2/15

領収書

公明党様

領収金額

¥2,500-

(10%標準対象 ¥2,500)
(内消費税等 ¥227)

上記正に領収いたしました

但 御食事代として として

オリオン餃子 宇
都宮駅前東店

栃木県宇都宮市
東宿郷2-4-1
TEL: 0286128078

担当者: スタッフ1
領収書No: RB0820200215184250000

領収書

No.220021464 精-01 20/02/15 19:39

公明党様

9,270円

上記金額をクレジットにて領収致しました

ダイワロイネットホテル宇都宮

TEL.028-610-0455

ダイワロイナル株式会社 本社
東京都千代田区飯田橋2-18-2

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

ご利用明細

No.220021464 精-01 20/02/15 19:39

部屋番号 204

ご利用期間 2020/02/15~2020/02/16
ご利用日 2020/02/15

公明党様

ご請求額 9,270円

室料	9,470円
ポイント	-200円
合計	9,270円

クレジットカードご利用明細

カード会社: JCB
ご利用日: 2020/02/15
会員番号: XXXXXXXXXXXX
有効期限: XX/XX
お支払方法: 一括払
承認番号: 0764284
カード会員名: JUNICHI/OSAWA

ご利用金額 9,270円

ダイワロイネットホテル宇都宮

TEL.028-610-0455

ダイワロイナル株式会社 本社
東京都千代田区飯田橋2-18-2

月日	行程	発着時刻		運賃 特急料金	備考
2月15日					
	立川駅	9:13	発 JR中央線快速・東京行	1,980	立川駅⇒宇都宮
	西国分寺駅	9:18	着		
		9:25	発 JR武蔵野線・東京行		
	武蔵浦和駅	9:51	着		
		9:58	発 JR埼京線快速・川越行		
	大宮駅	10:10	着		
		10:26	発 JR新幹線やまびこ133号・仙台行	2,400	指定席
	宇都宮駅	10:49	着		
	宇都宮駅		直通バス	500	
	作新学院大学				
			第15回全国若者・ひきこもり協同実践交流会inとちぎ（1日目）		
			12:45開会挨拶～18:00終了		
	作新学院大学		直通バス	500	
	宇都宮駅				
	宿泊		ダイワロイネットホテル宇都宮（宇都宮市東宿郷1-4-14）	9,178	（料金）9270円
					ー（ポイント）92円
2月16日					
	宇都宮駅		直通バス	500	
	作新学院大学				
			第15回全国若者・ひきこもり協同実践交流会inとちぎ（2日目）		
			9:30実践別分科会～16:15終了		
	作新学院大学		直通バス	500	
	宇都宮駅				
		17:34	発 JR新幹線やまびこ52号・東京行	1,980	宇都宮駅⇒立川駅
	大宮駅	17:58	着	2,400	指定席
		18:22	発 JRむさしの号・八王子行		
	立川駅	19:04	着		
交通費・宿泊費			合計	19,938	
	雑費			2,200	
	夕食			2,500	

月日	行程	発着時刻			運賃 特急料金	備考
	その他			合計	4,700	
	調査旅費			(交通費・宿泊費+その他) 合計	24,638	

	参加料			第16回全国若者・ひきこもり協同実践交流会inとちぎ	5,000	
	振込手数料				440	
	研究研修費			合計	5,440	

	資料購入費					
	資料購入費			合計	0	

				総計	30,078	
--	--	--	--	----	--------	--

研修報告書

公明党 立川市議会議員

大沢純一

- 【日 時】 令和2年2月15日（土）～16日（日）
【会 場】 作新学院大学（栃木県宇都宮市竹下町 908）
【参加者】 大沢純一
【内 容】 第15回 全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in とちぎ

【概要報告】

「全国若者・ひきこもり協同実践交流会」が作新学院大学で開催され、今回初めて参加。

会合で提起された課題は若者のいじめ・不登校の問題から「8050 問題」までと対象となる年代も幅広く、多岐にわたる2日間の研修となった。

様々な講演や報告を通して、若者が「生きづらさ」を抱えている現代にあって、支援のあり方はどのようにあるべきか、ということを学んだ。

【詳細報告】

今回で15回目となる「全国若者・ひきこもり協同実践交流会」が作新学院大学を会場にして開催され、今回初めて参加した。

一般社団法人若者協同実践全国フォーラムが主催する研修会であるが、提起された課題はいじめ・不登校の問題から「8050 問題」までと対象となる年代も幅広く、多岐にわたる2日間の研修となった。

1日目の前半は全体シンポジウムとして行われた。

最初に挨拶に立った福田・栃木県知事からは、知事本人が親族にひきこもり当事者がいること、さらに県内市民から知事に対して「8050 問題」解決に向けた強い期待の声があることが言及された。そうした状況の下、栃木県では県内のひきこもりの状況を把握するため調査を行っていることが紹介された。

続く佐藤・宇都宮市長は挨拶で、現代の子どもたちが生きづらさを抱えているという認識を示し、若者を支援する対象ではなく、共に社会をつくっていく対象ととらえ、施策を展開していることが紹介された。

次に登壇した作新学院大学の渡辺学長は、栃木県内でひきこもりとされる市民がおおよそ17,000人いることに言及され、そうした課題を解決するためには身近な支援のネットワークを行政だけでなく教育や福祉、医療機関さらにはNPOな

どと協力しながら、身近なところで困っている人をサポートできる「開かれた体制」をつくっていくことが重要だとの認識を示した。

また、人間は一人では生きられるわけではなく、多くの繋がりをもって生存しているとして教育者・牧口常三郎氏の「平凡な一人の乳児も、その命は生まれたときから世界に繋がっているんだ」という言葉を紹介し、「繋がり」の重要性を指摘した。さらにネットワークの構築とともに、一人ひとりの意識を代えていくことが大切であるとして多様な人間が認め合い、寛容で利他的な精神をもっていくということが極めて重要だと述べられた。

その後、主催である一般社団法人若者協同実践全国フォーラム（JYC フォーラム）の共同代表である吉村信宏氏が「権利としての若者協同実践を目指して」と題して基調講演を行った。

講演で吉村共同代表は、現在の「生きづらさ」がなぜ引き起こされているのかについて言及。地域や社会に何が矛盾や間違いがあるはずだとして、今が時代の転換期であると初めに問題提起をした。

そのうえで、近代日本の歴史認識として明治維新以後の 150 年は工業化と都市化により「便利」「効率」を優先した画一化が求められた時代だと指摘。その結果は、豊かさを享受できるのは一握りの人だけとなり、自分だけが良ければという思いが加速してしまったのが今の日本ではないかとの認識を示した。

また、経済が大きくなることに最も貢献してきたのが競争の原理であり、それが発展の原動力となってきたのは確かであることを述べたうえで、経済が停滞してしまった現在では、その競争が対立を生み出し分断をつくっていると主張。そこから孤立という「競争の負の側面」が生み出されていることが現代であり、その源を見つめ直していくことが「協同実践」であると結論付けた。

その後に行われたパネル・ディスカッションでは、3 名のパネリストからスウェーデンにおける若者による社会参画の取り組みが紹介された他、日本において若者が生きづらさを抱えている状況について、社会保障を軸に人権について議論が交わされた。

そこでは、これまで若者の生活保障は企業と家族にゆだねられてきたが、経済の停滞によって企業と家庭の包摂力が低下したと指摘。その結果、若者に対する保障が弱まっているとした。

さらに、これまで機能していた社会保障制度も機能不全が目立つとの主張もあった。その多くは予算削減による財源不足が原因だとしたうえで、その結果、人員が不足している現状のもと「断らない支援」を掲げながら断らざるを得ない実態があるとの課題も提起した。

そのように若者をめぐる社会福祉が「頼りない」なかでも、2000年代から若者支援政策（2003年「若者自立・挑戦プラン」）が行われてきたことは一定の評価をするが、その支援でさえも自立への意欲のある若者とそうでない若者との間に分断線を引いてきたとの主張もあった。

また、最近子ども若者育成支援推進法で総合的な相談ができる場所が増えてきたとは言えるが、現実として相談はできるが、それで安定した生活基盤が整うという状況ではなく、「生きていく条件整備」ができていないとの指摘もあり、そのもとで「相談しても無理」という声が当事者からあることを訴えた。

とくに若者支援といったときに、すなわちそれが「就学」し「就労」することでの経済的自立を目標としていることに関して、就学、就職することで生きることが安定するわけではない現実があり、新しい生き方を模索する必要性を示した。

全体会の後は一日目の分科会として「8050問題」について学んだ。

ひきこもりの問題を中心に、JYCフォーラム共同代表である立命館大学の山本耕平教授の他、佐野市役所に保健師として勤める津布久久枝氏や佐野市ひきこもりサポーターである太田八重子氏、同サポーターの横塚京子氏が登壇し、ひきこもり支援の取り組みなどについて報告した。

そのなかでは、支援の形として、今後の支援方法を担当者から伝える「提案型支援」が現場では多いと思われるが、それでは当事者との関係を悪化させてしまうことも少なくないことが報告され、当事者と支援の在り方については「一緒に」考えていくことが望ましいとされた。

また、佐野市の市民ボランティアである「ひきこもりサポーター」の取り組みが紹介された。その活動に対する参加者との質疑のなかで、ひきこもりの支援にあたっては、当人とその親に意識のギャップが発生し、とくに親が焦ってしまうことがあるとの指摘がされた。それに対して、支援者も当然結果（＝就職）に繋がりたいと焦ってしまうが、最も重要な点は「ゆるやかな変化を受け止める」ということであるとの見解が示された。

また、滋賀県高島市で若者の居場所づくりとして、ひきこもり当事者と高齢者が一緒に生活をしながら、パン作りを行い、スポーツイベントなどで販売しているという取り組みなども紹介された。

二日目は「自治体と民間団体の協同実践 共に“つくる”若者支援とは？」をテーマにした分科会に参加した。

ここでは栃木県子ども・若者ひきこもり総合相談センター「ポラリス☆とちぎ」の活動が紹介された。

平成 26 年 10 月に宇都宮市内に開所した県施設であるが、この事業はそれまでであった「子ども・若者相談総合センター」（所管：県青少年男女参画課）と「ひきこもり地域支援センター」（所管：県障害福祉課）を統合したものである。ポラリス☆とちぎの副センター長である隅節子氏からは、このような部署を横断的に行っているのは全国でも少ないことが伝えられた。

今年で 7 年目を迎える同施設であるが、活動実績として平成 30 年度は相談件数が年間 5221 件であったとの報告がされた。これは過去最高であるという。その相談内容はひきこもりや不登校が多くを占めるが、昨年度としては精神疾患での相談が多くなっているのが特徴であることも示された。また、同センターでは来所の相談が難しい家族には出張での相談にも応じているという。先述のひきこもりサポーター事業は、このポラリス☆とちぎでも行われており、そうした出張相談の際には同席して今後の「身近な相談相手」になることを目指している。

しかし、実際には同席はなかなか難しいことも担当者から言及された。その理由は、小さい行政では匿名性の確保が難しいことが挙げられた。相談者としては、周囲に家庭の事情を知られたくないが、相談を受け止めるサポーターに地縁があると相談しにくいということが、その難しさにあるという。これについては、国（厚生労働省）から「地域で身近に相談できるところをつくる」ことを支援として提示されているが、実際の現場では簡単ではないとの感想が述べられた。

そうした「事情を周囲に知られたくない」という思いから、当事者家族もひきこもりを地域の人に相談することは少ない。その結果、行政が自治会にひきこもりの実態を尋ねても「うちにはひきこもりはいない」という回答がされる。しかし実際にはいるというケースは、栃木県内だけでなく全国でおこっているとの見解も示され、実態把握の難しさを認識した。

その後、NPO 法人茨城居場所研究会を主宰し、茨城県と福島県でスクールソーシャルワーカー（SSW）としても活動する朝日華子氏から、子どもたちの「居場所づくり」の重要性について報告があった。

NPO 法人茨城居場所研究所は、不登校を課題として活動している。

不登校に至る理由は、学校が楽しくないことや友達がいらない等があるが、その反面で様々な理由から「家に帰りたくない」という子どももいる。高校生くらいになればアルバイトができることで、そうした時間があることが不登校に至らないためのエネルギーになっている場合もあるが、一方でそのような時間を持

てない子どもも当然いて、そのようなときに、家庭と学校以外での居場所があることが重要なのだという。

報告では、そのような認識のなかで実施されている、学校での「居場所カフェ」という取り組みが紹介された。ここには在校生や先生のほか、退学した生徒も来ることができ、つながり続けるための場所として提供しているということである。そのような場を設けることで子どもたちから様々な話を聞くことができ、じつは日常的にご飯があまり食べられていないなどに気づくこともあるということであった。

【所感】

今回参加した交流会の講演や報告では、若者の生きづらさやひきこもりからの脱出には、就労に至る前の中間的な居場所が必要だというのが、共通する認識であった。

高度経済成長時代のような、今日よりも明日は良くなるという思いを持ちづらい現代にあって、働くことについて閉塞感を抱えているのが実情ではないだろうか。就労することも勤続することも困難を伴うなかで、ひきこもりから直ちに仕事に気持ちを向けることは至難である。

一方では、ひきこもり、あるいは不登校などについて、行政としての対応は就労や就学を目標として事業を組み立てる。しかしそれが当事者を追い詰めることになってしまうこともある。

そうではなく、まずは当事者の話を聞きながら「ゆるやかな変化を受け止める」ということが最も重要だという指摘は、大いに参考になった。

「就学、就職することで生きることが安定するわけではない現実がある」という発言をきいたときには胸が痛む思いだったが、そうした現実と当事者の実感をしっかり受け止めて、居場所のない人がいない社会を作っていきたいとの思いを強くした。

活動記録簿

会派・議員名 公明党

年 月 日	令和 2 年 2 月 2 5 日 (火)			
場 所	ラッセホール リリー (兵庫県神戸市中央区中山手通 4 丁目 1 0-8)			
相 手 方	株式会社教育家庭新聞社			
参加者氏名	瀬 順弘			
目的・内容 結果 等	GIGAスクール構想 緊急教育委員会対象セミナー ・GIGAスクール構想 1人1台端末活用について ・校内ネットワークの設計とクラウド活用 ・1人1台端末などICTを活用した創造的な教育 ほか			
活動に要した 経 費	科 目 (該当科目に○を 付けてください)	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費		
	交 通 費	行 先	利用交通機関	利用区間
		ラッセホール リリー	JR中央線 (乗車券)	立川<→>東京
			新幹線 (乗車券 ・指定席特急券)	東京<→>新神戸
			神戸市営地下鉄	新神戸<→>県庁前
				円
	参加費 (会費・負担金等)	内訳:		円
	そ の 他	内訳: 通常料金とスマートE X 利用時の料金差額		△240 円
		内訳:		円
		内訳:		円
合 計				31,440 円

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

ご利用票 兼 領収書
SALES SLIP AND RECEIPT

下記、正に領収致しました。

This is certify that Central Japan Railway Company has received the following.

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

公明党

瀬 順弘

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2000

金額計
TOTAL AMOUNT

¥14,980
(クレジットカード利用)

内容
DETAIL

きっぷのご購入代金

購入日
DATE OF PURCHASE

2020年2月20日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

2月25日

取扱カード会社
CARD COMPANY

M U F G

クレジットカード番号
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXX

列車名・券種
利用区間

のぞみ21号
東京
FROM

新神戸
TO

¥14,980



ご利用票 兼 領収書
SALES SLIP AND RECEIPT

下記、正に領収致しました。

This is certify that West Japan Railway Company has received the following.

西日本旅客鉄道株式会社
West Japan Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

公明党

瀬 順弘

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2001

金額計
TOTAL AMOUNT

¥14,980
(クレジットカード利用)

内容
DETAIL

きっぷのご購入代金

購入日
DATE OF PURCHASE

2020年2月20日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

2月25日

取扱カード会社
CARD COMPANY

M U F G

クレジットカード番号
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXX

列車名・券種
利用区間

のぞみ42号
新神戸
FROM

東京
TO

¥14,980

